

村上英士朗さん(ウエイトリフティング) 国民体育大会 応援レポート

2015年9月29日(火)和歌山県 片男波公園健康館

北信越ブロック大会で大会新。国体本番で先輩と競う

9月27日～10月1日(木)、
国体のウエイトリフティング
が開催された。今年度奨学
生の村上さんは“成年男子

+105kg級”に出場する。北
信越ブロック大会では大会
新記録を出している。しかし、
この階級はロンドンオリ

ピック代表選手も名を連ね
る厳しい階級だ。チャレンジ
する村上さんの姿を応援に、
9月29日に会場に向かった。



試合の前に、お話ししてくれた村上さん。リラックスしている表情に見えたが「あんまり調子良くないっす」とぼろり

宮本さん(平成26年度奨学生)も活躍

平成26年度の奨学生、宮本昌典さんも沖縄代表の「成年男子 69kg」で活躍！29日にスナッチで3位、ジャークで4位の成績でした。初めての成年の部で試合で、素晴らしい成績。おめでとうございます！



スナッチは160kgの記録、3位に入賞！

試合はスナッチとクリーン&ジャークそれぞれ3回の試技のみが許される。大会前に申告した挑戦重量の順にスタートするが、そのあとはライバル選手との駆け引きで重量を決めていかねばな

らない、頭脳プレーが必要となる競技だ。

村上さんの当初の申告は150kgで後ろから3番め。1回めの試技は150kgではなく155kgに変更して成功！2回めも160kgを成功させて、

3回めは一気に170kgに挑戦とのアナウンス。応援する私たちも息を詰めて見守ったが、失敗して記録は160kgで3位となった。しかし、チャレンジしての3位は、見事だった！



一気に掴んで頭上へ！
競技のお手本のような
村上さん。観客もす
かっとします！



13 ウェイトリフティング

バーベルを頭上に持ち上げ、その持ち上げた重さを競います。

- 「スナッチ競技」と「クリーン&ジャーク競技」の2種目があります。
- スナッチ競技は、背筋・足の蹴り上げる力・腕の引き上げる力を爆発的に発揮し、バーベルの真下に一気に入り支えます。
- クリーン&ジャーク競技は、まず胸（鎖骨）までバーベルを引き上げ（クリーン）、バーベルを維持しながら足のバネと腕の力を利用し頭上に持ち上げます（ジャーク）。



国体パンフレットより
ルール引用。
マスコットは紀州犬をモチーフにした
きいちゃん。

クリーン&ジャークは200kgで総合3位。お疲れさまでした！

クリーン&ジャークは申告185kgのところ190kgからスタート、195kg、200kgと3回の試技を成功させて3位と

なった村上さん。「肩も腰も不調だった」と試合後に語ってくれた。その中で2位の選手にあと1kgと迫ったのは驚

きだ。次のインカレでは万全の体調で、目指すところまで持ち挙げてくれるはず。、お疲れさまでした！



いったん胸まで挙げて、頭上へ。全身の神経が研ぎすまされていくかのよう。



村上さん体重130kgに対し、上位2人は140kgオーバー。その差がどう影響するのか、今度聞いてみます



大会記録

◆成年男子 +105kg級トータル
決勝

【片男波公園健康館】
09月29日

順位	選手名	県名	所属	トータル (kg)	スナッチ (kg)	ジャーク (kg)
1	太田 和臣	福岡	九州国際大職	392	177	215
2	知念 光亮	沖縄	沖縄国際大	371	170	201
3	村上 英士朗	富山	日大	360	160	200
4	鈴木 匠平	群馬	ヤマダイ物産	325	145	180
5	野中 雅浩	大分	法大	325	146	179